とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																	
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則（第17条）、育児・介護休業規程（第22条）に明記。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「アークスグループハラスメント防止方針」、「アークスグループパワーハラスメントガイドライン」を明記。 ・ハラスメント研修の実施。 ・ハラスメントの相談窓口の設置。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・労働基準法等の内容を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている。								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・安全衛生管理規程の整備、安全衛生管理体制を構築している。 ・安全衛生委員会の実施、社員向けの労働安全講習会の実施。			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・メンタルヘルに関する方針と計画の策定。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「心の健康サポート」「メンタルヘルス相談窓口」を明記。			3														
	7	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・アークスグループ・フィロソフィーに「ダイバーシティの推進」を明記。 ・多様な人材の活躍状況をグループ広報誌等で積極的に発信している。 ・【予定】「くるみん認定」取得を目指す。 ・【予定】「えるぼし認定」取得を目指す。 ・障害者の雇用促進体制の構築を行っている(栃木県教育委員会より特別支援学校の教諭の内地留学受入、特別支援学校の生徒のインターンシップ受入）。 ・2022年障害者雇用優良事業所として高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞を受賞、法定雇用率3.68%。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・従業員のLTD制度（給与保証）導入。 ・【予定】健康経営優良法人認定（経済産業省）を目指す。			3					8									
	9	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・職場や役割に応じた研修体系の整備と実施。				4				8	9								
	10	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用	・パートタイム・有期雇用労働法、労働契約法等の内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。								8.5		10.2 10.3							
	11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・廃棄物の種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定している。 ・トレーの回収による再生トレー利用の実施、使用済み紙パックの回収によるリサイクル、廃油の回収によるリサイクル、ろ過機導入により廃油の削減等の施策を行っている。 ・野菜くずの宇都宮動物園への提供、食品くず（野菜・弁当等生ごみ）のたい肥化 ・「てまえどり」「食品ロス削減」「恵方巻ロス削減」の啓発活動 ・食品ロス・廃棄の発生抑制										11.6	12.3 12.4 12.5		14.1				

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング															
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・AI搭載エネマネシステムで電力使用量を管理・削減。 ・節電の促進。 ・省エネルギー化への取組（LED化の推進）。 ・時間帯別の照明照度のPCによる管理推進。 ・クールビズの推進。 ・【予定】空調自動制御の導入により節電促進。							7.3						13				
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・【予定】算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定。							7.2 7.3					12.4	13.3				
環境	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・法令で規制されている有害化学物質を把握。			3.9			6.3					11.6	12.4					
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・環境に配慮した商品・サービスの提供を通して生物多様性に配慮している。						6.6									15		
	16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・節水の促進。 ・水利用状況を把握し、使用量の削減等の計画を策定する。						6.4 6.6											
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	・【予定】エコアクション21の取得を目指す。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	・リサイクルについて自社HPに開示している。 ・【予定】アークスグループとして統合報告書や有価証券報告書等に開示。												12.6					
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・【予定】新設店舗もしくは全面改築店舗から太陽光パネル・蓄電池設置を検討							7.2						13				
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	・認証商品の販売。 ・オーガニック商品の取扱開始。 ・水産庁の「さかなの日」に賛同。												12.2	13	14	15		
	21	【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・資源の再利用、再資源化を進めている。 ・特定プラスチック使用製品提供の削減目標（2030年までに約94％削減） ・トレーの回収による再生トレー利用の実施、使用済み紙パックの回収によるリサイクル（2023年度は4トン回収）、廃油の回収によるリサイクル、廃油の削減等の施策を行っている。 ・野菜くずの宇都宮動物園への提供、食品くずのたい肥化。						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
公正な事業慣行	22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・アークスグループ・フィロソフィーに「コンプライアンス」（ＣＳＲ、公益通報者保護法、コンプライアンス5つの視点、内部通報窓口等）を明記。 ・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範の整備と社内浸透。															16 16.5	
	23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・公正取引に関する行動指針を整備。															16	
	24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・商標等知的財産権の取得・管理								8.2 8.3	9							
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・アークスグループとして「個人情報保護方針」を策定し、公表。 ・「個人情報保護規程」「特定個人情報取扱規程」「個人情報外部委託管理規程」を整備。															16	
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用	・自社製品の原材料サプライチェーンの把握。															16	

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング															
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用	・納品期限緩和による食品ロスの削減（「3分の１」ルールから「2分の1」ルールへ変更）。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・「品質保証規程」を定め、自社製造製品の品質保証体制を構築。 ・バックヤードに夜間オゾン水散布による殺菌（感染症予防対策）。			3.9									12.4					
	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・「品質保証規程」を定め、自社製造製品の品質保証体制を構築。 ・お客様の声については、四半期毎取締役会に報告。									9								
製品・サービス	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	・FSC認証製品の販売・売場表示。 ・MSC、ASC認証製品の販売・売場表示。						6						12	13	14	15		
	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	・子会社の㈱オータニ農場で小松菜、ケール、ひもとうがらしの生産。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・地域との対話に基づく、事業の地域への影響の把握。 ・アークスグループのコーポレートステートメントとして「豊かな大地に輝く懸け橋」を定めて、地域にドミナントエリアを築き、多くのお客様に対して新鮮で、安全・安心な食品を提供することにより、生産地とお客様を結ぶ懸け橋になりたいとも思いをアークスグループ・フィロソフィーに明記。 ・こども110番の家パネル設置。 ・中学生を対象とした職場体験学習の受入。				4					9		11	12		14	15		17
	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・「栃木県との災害時における応急対応業務の実施に関する協定」提携による緊急物資支援。 ・独立行政法人国立病院機構栃木医療センターと「災害時における食料品等の協力・支援に関する協定書」による緊急物資支援。 ・上三川町見守りネットワーク事業協力に関する協定書締結。 ・宇都宮市社会福祉協議会実施の「ぎんなん募金」の協力。 ・公益財団法人東日本盲導犬協会実施の「盲導犬募金」の協力。 ・栃木ブレックスのオフィシャルスポンサー。 ・栃木サッカークラブ応援基金自販機の設置。				4							11			14	15		17
	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	・毎月18日は「とちぎ地産地消の日」として推進。 ・地場野菜コーナー、地場生産品コーナー等を設営。								8	9		11	12	13				
組織体	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	・アークスグループ運営方針に「情報の公開とコンプライアンス」を明記。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「個人情報保護法」「独占禁止法」「下請法」「景品表示法」「食品表示法」「食品衛生法」「いのちを守る食品表示」を明記。 ・コンプライアンス研修の実施。															16	
	36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・グループ経営理念を明文化している。 ・アークスグループ・フィロソフィーに「SDGｓの推進」を明記。 ・サステナビリティアクションプランシートを策定し、適時、目標、進捗状況を取締役会等で共有。								8	9								17
	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・アークスグループ・フィロソフィーに「コンプライアンス」（ＣＳＲ、公益通報者保護法、コンプライアンス5つの視点、内部通報窓口等）を明記。 ・法令遵守（コンプライアンス）の方針、体制の整備。 ・内部通報規程により内部通報制度、社外通報窓口の整備。															16	
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	・サステナビリティ推進委員会を設営。																16	

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	チェック番号	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	３側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・アークスグループ・フィロソフィーに「個人情報保護法」「独占禁止法」「下請法」「景品表示法」「食品表示法」「食品衛生法」「いのちを守る食品表示」を明記。																16	
	40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	・アークスグループ・フィロソフィーに「コンプライアンス」（ＣＳＲ、公益通報者保護法、コンプライアンス5つの視点、内部通報窓口等）を明記。																16	
	41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握。																16	17
	42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・【予定】事業継続計画（BCP）の策定、定期的な訓練の実施を検討。									9		11		13 13.1			16	
	43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	・上場会社㈱アークスと経営統合、㈱アークスの連結子会社となる。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】

・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する場合は赤字で番号を記載しています。（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）